

# 四中図書館だより

本の森から 令和2年 9月特別号



調布市立第四中学校図書館

例年になく短かった夏休みも終わり、2学期が始まりました。まだまだ暑い日が続いています。新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながら、体調管理に気をつけて過ごしましょう！

今回は特別号として、学芸委員からのオススメ本を紹介します。学芸委員が書いた紹介カードは四中図書館前に掲示し、オススメ本は図書館内に展示しています。

## 『あの日、ブルームーンに。』

宮下 恵菜／著 ポプラ社 913ミ

この本の主人公は私たち3年生と同じ15歳の女の子で、みなさんもより共感しやすいと思います。

ブルームーンとよばれる、願いをかなえてくれる青い月。主人公が祈ったこと、一緒に祈りたい人とは・・・。

「炭酸水のようにあまく胸をこがす、極上の青春ストーリー」



## 『記憶屋Ⅲ』

織守 きょうや／著 KADOKAWA 913オ

この本はシリーズとして出版されており、表紙は違うように見えるのですが、全ての巻がつながっています。Ⅲの最後では、ⅠとⅡで語られなかった衝撃の結末となっているのも読みどころです。

「記憶屋」の正体とは、一体なんだったのか、なぜ記憶を消すのかなど、最終巻では真相が明らかになります。まだⅠ、Ⅱ巻を読んでいない方は、そちらからオススメです！ぜひ読んでみてください！！



## 『小惑星探査機「はやぶさ」宇宙の旅』

佐藤 真澄／著 汐文社 538サ

2003年にひっそりと旅立った小惑星探査機「はやぶさ」。数々の「世界初」を背負い、トラブルに見まわれながらも2010年に帰還した「彼」の「生き様」を描いた本です。

エンジンの故障、燃料漏れ、1ヶ月間の音信不通の状態でも「彼」は決してあきらめませんでした。世界初の「サンプル・リターン」を成功させ、絶体絶命の危機から立ち返った「彼の生き様」は多くの人々の感動を呼び、「はやぶさ君」と呼ばれ親しまれました。

日本一の探査機「はやぶさ」。さあ、皆さんも「彼」と共に宇宙の旅へ立ちませんか？



## 『本と鍵の季節』

米澤 穂信／著 集英社 913ヨ

この本は、堀川次郎と松倉詩門、2人の図書委員のお話です。利用者のほとんどいない放課後の図書室で、いつものように当番をしていると、図書委員を引退した先輩女子が訪ねて来ます。その内容は、亡くなった祖父が遺した開かずの金庫の番号を探り当ててほしいというものでした。しかし、そこから様々な謎が明らかになっていき、物語が大きく展開していきます。

謎解き含め、男子図書委員2人の友情物語です。ぜひ読んでみてください！

## 『なりたい二人』

令丈 ヒロ子／作 PHP研究所 913レ

この本のおすすめポイントは、えりとムギの心の変化です。お互い自分の容姿を気にして、なりたい職業を口にできない二人ですが、会って関わっていくうちにだんだん変わっていきます。

二人の心の変化はもちろん、見ための変化からも目がはなせません！



## 『博士の愛した数式』

小川 洋子／著 新潮社 913オ

事故が原因で、80分しか記憶がもたない数学者と、彼のもとにやってきた家政婦とその息子・ルートとの物語。同じ繰り返しだった代わりばえのない博士の毎日に、少しずつ新しい発見や驚きが変わり、かけがえのない日々へと変わります。その小さな喜びのある毎日こそが、生きる喜びなのかもしれません。

静かな流れの中で過ぎゆく毎日の愛おしさを感じられる物語です。



## 『ひとりずもう』

さくら ももこ／著 小学館 914サ

この本は、さくらももこさんの青春時代についてのエッセイです。主に中学・高校時代についての話がたくさんあり、1つ1つおもしろい話になっています。ぜひ読んでみてください。

## 『図書館の主 塔の下のライブラリアン』

真堂 樹／著 朝日新聞出版 913シ

御子柴(みこしば) 貴生という「タチアオイ児童図書館」の司書を主役として進むストーリー。司書がマフィアの家へ侵入する!?

最後のページに用語がのってて、とても読みやすい本です。



## 『なぜ迷う？ 複雑怪奇な東京迷宮駅の秘密』

田村 圭介／監修 実業之日本社 686ナ

この本は、東京駅、新宿駅、上野駅等、駅の構造について書いてある本です。井桁駅、切り貼り駅、立体構造駅について紹介しています。シンプルな路線なのに簡単な上下移動ができなかった事情について知って、構造や空間を把握すれば、迷わない、苦しみません。駅の標識も、上にあたり下にあたりしてとても面白いです。

皆さんも是非読んでみてください。



## 『容疑者Xの献身』

東野 圭吾／著 文藝春秋 913ヒ

最後のページを読み終わるまで想像もつかないような物語です。犯人にわかまってほしいけど、つかまってほしくない、複雑な気持ちになります。

読みながら推理ができるのでおすすめです。文庫本のエリアにあるので、みなさんもぜひ読んでみてください。

## 『番号をどうぞ』 星新一ショートショートセレクション

星 新一／作 理論社 913 ホ

この本はいくつかの短編でできていて、とても読みやすいです。その中でも、この本のタイトルになっている「番号をどうぞ」の話を紹介します。

この話は、番号で全てが管理されている社会で、ある男が全ての番号を忘れるという話です。番号がないと、服を買うことも金を借りることもできません。

最後にどうなるか、ぜひ手にとって読んでみてください！



## 『ハリネズミの願い』

トーン・テレハン／著 新潮社 949 テ

この本には、ハリネズミが出てきます。このハリネズミは周囲の動物たちとあまり上手くいっていません。そんなハリネズミが、ほかの動物たちと仲良くなるために、いろいろの計画を立てます。パーティーに誘ったり、招待状を出したり・・・します。さて、仲良くなれるのでしょうか？

この本を読むと、いろいろ挑戦したい気持ちになります。ぜひ読んでみてください。



## 『都会(まち)のトム&ソーヤ』

はやみね かのる／著 講談社 913 ハ

平凡な中学生サバイバーの内藤内人と、御曹司で天才な竜王創也が、栗井栄太というゲームクリエイターを探す話。

創也はゲームクリエイターになり、究極のゲームをつくらうとしていて、そのために栗井栄太というゲームクリエイターを探している。ある日、創也は、栗井栄太が下水道にいると考える。本当にいるのか？ いないのか？ 読んで確かめてみてください。

## 『だまされる視覚』

北岡 明佳／著 化学同人 145 キ

僕がこの本でおすすするところは、一気にいろいろな錯視(さくし)を見られるところです。これ一冊で錯視の基本的なことがほぼ全てわかります。

錯視に少しでも興味がある人は借りてみてはどうでしょうか。



## 『5分後に意外な結末』 シリーズ

桃戸 ハル／編著 学研教育出版 908 ゴ

題名にあるとおり、意外な結末が最後に待っているお話です。自分も読んだ時は、こんな結末なんだ、と予想していたお話とちがいました。

5分で読めるような短いお話ばかりなので、朝読にもオススメです！

## 『都会(まち)のトム&ソーヤ』

はやみね かのる／著 講談社 913 ハ

塾通いに追われる、普通の中学生・内藤内人と、勉強しなくてテストは100点の竜王創也の2人が、協力しながら謎のゲームクリエイターに挑戦するお話です。

中でも、主人公が中学生ということなので、いろいろなことを知ることができたり、共感できる場面もあります。とても面白いです。読んでみてください！



## 『小泉八雲集』

小泉 八雲／著 新潮社 933 ハ

民話、伝説、怪談などが載っている短編集です。短編集なので、とても読みやすい本になっています。

「雪女」や「耳なし芳一」といった有名な作品はもちろんおもしろいですが、それ以外の作品もおもしろいので、是非読んでみてください。



## 『風に恋う』

額賀 濤／著 文藝春秋 913 ヌ

主人公の男の子は、高校へ入学。部活はやらないと決めていたものの、気になって吹奏楽部に行ってみたら尊敬する人に会い、入ることに。入ってみたら、そこはやる気のない部員たちばかり。これからどう立ち直らせるのか。涙や笑い、時には喧嘩も、いろいろな事が起こる高校生のお話です。



## 『舟を編む』

三浦 しをん／著 光文社 913 ミ

この物語は、辞書をつくる編集者の話。自分の人生をささげ一冊の辞書をつくりあげるところに、とてもおどろき感動します。

今の時代、インターネットや電子辞書を使って簡単に言葉を調べられますが、辞書の魅力を再確認できます。また、それぞれの辞書に個性があるということも魅力の一つです。みなさんもぜひ読んでみてください。



## 『まいなす』

太田 忠司／作 理論社 913 オ

主人公の那須舞は、飛魚中に通う14歳。舞の名前を英語読みすると、Mai Nasu = マイナスとなってしまるのが悩みで、そう思われまいように明るくふるまっている。しかし、ある日、その明るさのせいで、不思議な伝説がある祠(ほくら)へ行くことになり、さまざまな事件が起こる。

この本は主人公・舞の目線で話が進むため、舞の心の変化などがわかりやすく、自分もその気持ちになれるのがポイントです。



